

道徳通信

～未来への道標～

東方中令和元年5月29日発行

1年生

本日の授業者【 長野 先生 】

タイトル「 愛情貯金をはじめませんか 」 ねらい「 あいさつを含め、時、場所、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる 」

○内容や授業の様子

NHK for school の教材を利用し、相手の立場を考えた言動について学習した。

○子どもたちの声

自分だけではなく、相手の気持ちを考える。

これまでの自分自身を振り返り、今後どのようにクラスメイトと接していかなくてはならないのか考えることができた。

2年生

本日の授業者【 假屋 先生 】

タイトル「 戦争取材する 」 ねらい「 自分の生き方を考える 」

○内容や授業の様子

戦場ジャーナリストの人生を通して、自分がどう生きるかを重ね合わせて考えた。子どもはどちらかというと、戦争の恐ろしさに目が行った。

○子どもたちの声

戦争の恐ろしさと平和のありがたさを再確認した。

3年生

本日の授業者【 田畑 先生 】

タイトル「 卒業文集最後の二行 」 ねらい「 差別や偏見を見抜き、人間として許されないことを許さない態度を育てる 」

○内容や授業の様子

いじめと向き合って、しっかりと自分の意見を発表できた。

○子どもたちの声

偏見で人を見ない。

周りに流されない。

いじめは絶対に許さない心をもつ。

校長のつぶやき

今回の道徳は、「人としての生き方について」です。学級での自分はどうなのか、戦場カメラマンはどんな気持ちで戦争と向き合ったのか、卒業文集から感じたいじめとは？今回川崎市的事件で、犯行に及んだ人の小中学生時代がニュースで明らかにされるたびに、学生時代の過ごし方がとても大切な感じがありました。「人としての生き方」や「まわりとの関わり方」は、本人だけで考えられるものでもなく、先人からの学びもあります。子どもたちも様々な人の意見に耳を傾けて、どうすべきか考える力を身に付けて欲しいと願います。

